

【自分たちに何ができるか】⑥

みんなからの思いよ届け……

みなさんが協力して集めてくださった貴重な募金を、会長の春日井さんと共に、市内他五校の小・中学校の代表の方たちと一緒に、井崎市長さんに届けてきました。坂巻市議会議長さん、田中弘美教育長さんも同席してくださった中で、市長さんに目録をお渡ししました。各校の代表者からそれぞれ挨拶する事となり、まず春日井さんの言葉から始まりました。その一部を紹介したいと思います。

私たち南部中では、始業式の日から能登半島地震に関する新聞記事の配信が行われました。その記事を読んだみんなから「募金という形で力になりたい」という声が多く届き、一刻も早くという思いから、その週には募金を実施することができました。保護者や地域の皆様も協力していただき、目標金額を大きく上回る結果となりました。

今でも南部中では、全校で一貫して能登地震に関する新聞記事を読み、自分たちでできることを日々考えています。今日から勝浦中と同じように、文房具を提供するた

めの取り組みを始めました。

ただでさえ寒い季節なのに、暖房は少なく雪は多い、本当に過酷な生活を送られていると思います。私たちができることはごくわずかですが、被災された方々にいつも通りの温かな日常が、一日も早く戻ることを願っています。

みなさんの思いをしっかりと、市長さんに伝えてくださいました。市長さん、議長さん

は今日から能登町へと出發されました。宿泊場所もない中で、寝袋持参で



市役所に泊めていただくのだそうです。ライフラインもまだまだ不十分な中、ようやく小・中学校も始業式を迎えられたようですが都市部に避難している友達も多く、電気や水道が完全に復旧した学校は二校に止まっているというお話でした。一日も早く日常が戻り仲間たちと一緒に学べるようになることをみんなでも願うとともに、できる限りの支えをこれから続けていきたいと思います。

金曜日には新聞記事に触れることのできる時間があります。限られた短い時間の中でも、自分たちが感じたありのままのこと、素直な応援する思いをメッセージとして届けた。ぜひ宜しく願います。

市内の全小・中学校で集められた募金の総額は、今日現在で五百八十九万円を超えました。この短期間の中で、とてもすごいことだと思えます。みんなの世代は、ちょうど三・一一の時に能登町からいただいた水を飲んでいた人もたくさんいると思います。そのことも忘れずにいたいですね。

私たち一人一人にできることはそんなに大きくはありません。でも、こうやってたくさんの方の力が集まれば、より大きな成果を上げることができる。普段の生活も同じだと思います。クラスや部活の仲間たちと力を合わせるからこそが、成功への近道なのかも知れません。そんな底力をもった南中生のみんなに大いに期待しています!! Fight!!